

2009年3月期第1四半期（4-6月累計）連結決算の進捗状況

2008年8月7日
アルプス電気株式会社

(第1四半期：公表値進捗)				(単位：億円) 億円未満は切り捨て表示 (前年同期比)			
	2008/4-6月 1Q実績	2008/4-9月 2Q累計予想	進捗 率	(ご参考) 通期予想	2007/4-6月 1Q実績	前年同期 差異	増減 率
売上高	1,597	3,300	48%	7,000	1,779	△182	△10%
営業利益	8	70	11%	210	62	△54	△87%
経常利益	42	70	60%	210	75	△33	△44%
四半期純利益	5	30	17%	70	34	△29	△85%
為替レート(USD)	104.55円	105.00円	0.45円	105.00円	120.79円	16.24円	円高
〃 (EUR)	163.43円	160.00円	3.43円	160.00円	162.72円	0.71円	円安

(セグメント別売上高：公表値進捗)				(前年同期比)			
	2008/4-6月 1Q実績	2008/4-9月 2Q累計予想	進捗 率	(ご参考) 通期予想	2007/4-6月 1Q実績	前年同期 差異	増減 率
コンポーネント	235	485	49%	1,075	253	△18	△7%
磁気デバイス	---	---	---	---	60	△60	△100%
情報通信	125	290	43%	615	129	△4	△3%
ペリフェラル	217	455	48%	990	250	△33	△13%
車載電装	254	530	48%	1,140	276	△22	△8%
セグメント間売上	16	40	40%	80	22	△6	△27%
【電子部品計】	848	1,800	47%	3,900	994	△146	△15%
音響製品	632	1,240	51%	2,600	689	△57	△8%
物流・その他	211	435	49%	884	205	6	3%
セグメント間消去	△95	△175	---	△384	△108	13	△12%
【合計】	1,597	3,300	48%	7,000	1,779	△182	△10%

注：磁気デバイス事業にて行っているセンサ・オプト製品の売上については、コンポーネント事業に含めて表示を行っている。

①各事業の概況（2Q累計予想に対する進捗状況）

<電子部品事業>

売上高 848億円(進捗率 47%) 営業利益 △9億円(進捗率 △30%)

売上面では、個別製品毎の進捗に差はあるものの、電子部品事業全体としては、概ね計画通り。営業利益面では、原油高騰を背景とした原材料価格の値上げや輸送費用の上昇などが、原価を押し上げており、加えてプロダクトミックスなどの要因も重なり、赤字の状況が続いている。2Qは年末商戦に向けた受注状況も上向いており、反転(黒字化)の見通し。

(コンポーネント事業)

第1四半期売上高 235億円(進捗率 49%)

スイッチをはじめとする携帯関連向け製品は、携帯電話市場において年初来の調整が続いているが、ゲーム・民生用途向けなどで穴埋めできている。また、従来からの抵抗式車載用センサは自動車市場の低迷によって売上が低調。コネクタやオプト製品の状況も芳しくない。

(情報通信事業)

第1四半期売上高 125億円(進捗率 43%)

放送用チューナは増加しているものの、通信系モジュールが減少。全体の進捗としては若干遅れ気味。

(ペリフェラル事業)

第1四半期売上高 217億円(進捗率 48%)

PC周辺製品が底堅く推移。2Qには、小型プリンタなどの新製品が寄与し、当初計画を上回る見通し。

(車載電装事業)

第1四半期売上高 254億円(進捗率 48%)

原油高騰などにより、北米市場において大型車を中心に自動車の販売が低迷していることから、米国自動車メーカー向けに売上が落ち込んでおり、当初計画の達成は困難な状況。

<音響製品事業>

売上高 632億円(進捗率 51%) 営業利益 3億円(進捗率 34%)

音響機器事業部門において、日・米・欧の市販市場向けに投入した iPod[®]対応ヘッドユニットの売上が堅調に推移するも、CDプレーヤーなどの主力商品が、価格競争激化の影響などから売上が減少。また、自動車メーカー向けでも、米・欧メーカーのモデルチェンジの影響により売上減。情報・通信機器事業部門では、国内市販市場において新製品の売上が寄与するも、欧米市場における低価格PND(ポータブル・ナビゲーション・デバイス)の普及拡大などによる価格競争激化の影響を受け、ナビゲーションの市販売上は減少。また、欧州メーカー向け売上は、大型システム商品の受注により増加しているものの、主力の北米市場での販売が落ち込んでおり、自動車メーカー向け売上は横ばいの状況。

<物流・その他事業>

売上高 211億円(進捗率 49%) 営業利益 13億円(進捗率 48%)

物流事業において、電子部品物流事業部門では、電子部品の需要減少により貨物量が減少。国内の減少分を海外分でカバーしている。消費物流事業部門では、生協関連の個配業務を中心に売上を拡大するも、新拠点設立に伴う費用や燃料費高騰などの影響を受け利益面では苦戦中。商品販売事業部門では、顧客の海外生産における資材の現地調達化推進に対応し、特に中国で売上を拡大するも、国内では需要減少に伴い、若干の増収。物流事業全体では、前年同期比増収を達成しながらも、原価アップにより営業減益。

②為替影響額

当初計画 USD 105.00、EUR 160.00 → 第1四半期実績 USD 104.55、EUR 163.43

売上高

米ドルは円高、ユーロは円安に推移したことから、第1四半期累計で **概算4億円** の増収要因
(参考：為替1円に対する売上高への概算影響額 USD 1.8億円/月、EUR 0.6億円/月)

営業利益

米ドルは円高、ユーロは円安に推移したことから、第1四半期累計で **概算2億円** の増益要因
(参考：為替1円に対する営業利益への概算影響額 USD 0.4億円/月、EUR 0.2億円/月)

③たな卸資産在庫

連結ベースでの2008年6月末の在庫金額は、同3月末と比べて35億円の増加(3月末 725億円 → 6月末 760億円)。

- ・ 電子部品事業：(同 432億円→453億円(21億円増))
→ 主に2Q売上・生産に向けた、製品や仕掛品などの在庫増。
- ・ 音響製品事業：(同 285億円→299億円(14億円増))
→ 主に2Q売上に向けた、一時的な製品在庫の増加など。

(業績予想の利用に関する注意事項)

上記に記載した将来に関する予想数値およびコメントは、本資料の開示日現在において入手可能な情報に基づき作成していますが、実際の業績等は今後、様々な要因によって予想数値およびコメントと異なる結果となる可能性があります。なお、本文中に記載の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

以 上

2008年6月第1四半期 決算参考資料

2008年8月7日

アルプス電気株式会社

1. 経営成績

(単位：億円)

	2007年度					2008年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	2 Q累計(予)	通期(予)
売上高	1,779	1,776	1,782	1,588	6,926	1,597	-	3,300	7,000
国内	508	477	509	447	1,942	408	-	-	-
海外	1,271	1,299	1,272	1,141	4,984	1,189	-	-	-
営業利益	62	69	65	1	198	8	-	70	210
経常利益	75	36	68	△49	131	42	-	70	210
当期純利益	34	△133	34	108	44	6	-	30	70

2. 製品部門別売上高

(単位：億円)

	2007年度					2008年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	2 Q累計(予)	通期(予)
電子部品事業	994	1,052	1,067	876	3,991	848	-	1,800	3,900
コンポ-ネット	253	254	254	236	999	235	-	515	1,135
磁気デバイス	60	41	10	12	126	-	-	-	-
情報通信	129	156	152	122	561	125	-	300	635
ペリフェラル	250	325	346	213	1,136	217	-	455	990
車載電装	276	259	279	274	1,090	254	-	530	1,140
セグメント間売上	22	15	22	16	76	16	-	-	-
音響製品事業	689	619	610	601	2,520	632	-	1,240	2,600
物流・その他	205	205	215	211	837	211	-	435	884
セグメント間消去	△108	△101	△111	△101	△422	△95	-	△175	△384
合計	1,779	1,776	1,782	1,588	6,926	1,597	-	3,300	7,000

(注)2008年度以降については、磁気デバイス部門売上高をコンポ-ネット事業に統合した数値で表示しております。

3. 部門別営業利益

(単位：億円)

	2007年度					2008年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	2 Q累計(予)	通期(予)
電子部品事業	11	34	35	△18	63	△9	-	30	90
音響製品事業	33	20	9	6	70	3	-	10	50
物流・その他	17	14	19	13	64	13	-	30	65
消去	0	△0	0	0	1	0	-	0	5
合計	62	69	65	1	198	8	-	70	210

4. 部門別設備投資・減価償却実施額

(単位：億円)

	2007年度					2008年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	2 Q累計(予)	通期(予)
電子部品事業	78	59	51	73	263	103	-	180	300
音響製品事業	28	39	34	34	136	31	-	80	110
物流・その他	8	7	7	8	32	8	-	30	40
消去	△0	△0	△0	△0	△1	△0	-	-	-
合計	116	105	93	116	431	142	-	290	450
減価償却実施額	101	106	84	85	377	80	-	160	330

(注)設備投資については、実績は取得ベースで記載し、予想は発注ベースでリスを含んで記載しております。

5. 部門別研究開発費

(単位：億円)

	2007年度					2008年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	2 Q累計(予)	通期(予)
電子部品事業	37	34	38	39	150	35	-	90	170
音響製品事業	74	70	73	76	295	70	-	140	300
物流・その他	0	0	0	0	0	0	-	0	0
合計	111	105	112	116	446	106	-	230	470

6. 部門別棚卸資産(製品、仕掛品、材料・貯蔵品)

(単位：億円)

	2007/6	2007/9	2007/12	2008/3	2008/6
電子部品事業	491	499	538	432	453
音響製品事業	328	312	342	285	299
物流・その他	7	7	7	6	7
消去	-	-	-	△0	-
合計	826	819	888	725	760

7. 従業員数

(単位：人)

	2007/6	2007/9	2007/12	2008/3	2008/6
期末従業員数	38,073	36,811	37,887	41,224	40,531
(参考)単独従業員数	5,952	5,912	5,851	5,759	5,920

億円未満は切り捨て表示。